

令和2年度 第8回運営委員会議事録

日時：令和2年10月26日(月) 14:00～16:00

手法：集合会議（鶴ヶ島市民活動推進センター）

参加：鈴木勝行、宮崎弘子、渡邊勇、佐藤英人、浅井敬三、廣川千恵子、川島秀男、山本実穂

議長：鈴木勝行

書記：山本実穂

資料：議事次第、チラシ[助けてください!!（加治丘陵の自然を考える会・飯能）]

議題

1. 標識放流調査について

1) 入間川

- ・圏央道高架上流：10月24日に特別解禁、調査を実施。標識アユ1尾を再捕。10月末で調査を終了。
- ・金澤氏から西武鉄橋下の床固め工に1m以上の落差があり、魚道の設置が必要との報告あり。
改良要望申請の方向で農林振興センターに相談する。

2) 高麗川

中里堰と5号堰の落差問題は、埼玉西武漁協と連携して進める。

2. サイサン環境保全基金について

- ・サイサンからアンケートがあり、コロナ禍での活動変更について報告した。
現在までの支出金額204,500円、今後の支払い予定額207,000円。合計411,500円で再申請。（申請金額65万）
- ・浅間堰：セメントでプールを作るため名細第一土地改良区に設置の許可を取りに行く。（鈴木・浅井）
作業は渇水時の1～2月を予定。
- ・1月初めに報告書を取りまとめる。
- ・余裕があれば、荒川右岸土地改良区の許可を得て、菅間堰の上流側の水量調整を行いたい。

3. 2020年度の一斉水質調査のまとめ

- ・19団体、1大学、2個人参加で、218地点を調査
- ・紙製MAPを1,000部印刷、12月5日刷上がり予定、昨年同様に送付依頼する。（送付先：渡邊、大熊、鈴木、宮崎）
- ・昨年度と今年度の試薬配布などの準備対応の変化について(昨年度まで → 今年度)
試薬送付：大熊理事から各調査団体へ → 全国水環境マップ実行委員会から各団体へ(送料は全国水環境マップ実行委員会)
ECメーター：昨年同様に大熊理事から各調査団体へ送付、今後は各調査団体が保管してもらう
- ・データの集計まとめ方や、マップ上の表現(○△□や色相等)について、さらに判別しやすいように検討していきたい(佐藤、渡邊、大熊)

4. その他

1) 荒川流域エコネット地域づくり推進協議会出席について

第1回会議(準備会)を9月23日に鴻巣市で開催した。第1回委員会会議を11月12日に予定。

2) 第 25 回荒川流域再生シンポジウム開催について

2021 年 3 月 14 日(日)、国立女性教育会館(嵐山町) 110 研修室

開催方法(リモートシンポジウム等)は、今後の感染症の様子をみて検討

3) 川魚のマイクロプラスチックの調査結果について

昨年度のイベントで採捕した川魚を、マイクロプラスチックの調査のために、環境科学国際センターへ金澤氏が届けたが、その調査結果を金澤氏に確認する。

4) [加治丘陵の自然を考える会・飯能]からの協力依頼について

飯能市阿須山中土地有効活用事業内容と協力依頼について確認した。

◆次回予定 令和 2 年度 第 9 回運営会議

日時：令和 2 年 11 月 30 日(月) 14 : 00～

場所：Web 会議システム(Zoom)